



画：ブライアン・ウィリアムズ／「棚田秋晴れ」 曲面油彩画

# 第65期 年次報告書

平成30年7月1日 ▶ 令和元年6月30日

## TOP MESSAGE

- 当期の概況と今後の取り組み

## 工事紹介

- 国道422号補助道路整備工事
- TCC Therapy Park新築工事
- リニア中央新幹線名城変電所新設工事

## TOPICS

- 「建設事業関係者功労者等国土交通大臣表彰」受賞
- 金勝生産森林組合より「J-クレジット」購入

# TOP MESSAGE

当期の概況と今後の取り組み

## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第65期(平成30年7月1日から令和元年6月30日まで)の事業活動が終了いたしましたので、概況および今後の取り組みについてご報告させていただきます。

当社では、創業100周年に向けて持続可能な経営を行っていくため、これからの経営に重視されるSDGsへの取り組みを積極的に行っております。

まず初めに、SDGsとは「持続可能な世界の実現に向けて国連が定めた17の目標」であります。SDGsの実施指針には、経済、社会、環境の様々な課題を踏まえた上で、何を優先して取り組むべきかが示されています。これらのテーマの中で企業や自治体が特に関心を寄せているのが以下の9つの項目であります。

- 女性の活躍
- 教育と職業訓練
- 健康と長寿の達成
- 安全で住みやすいまちづくり
- エネルギー利用やCO<sub>2</sub>の削減
- 持続可能な消費
- 海洋プラスチックごみの削減
- 森林や生態系の保護
- 科学技術、イノベーションの創出

これらのうち、現在当社の業務と関係の深い目標について、私どもは率先して取り組みを行っております。その事例をいくつかご紹介させていただきますと、まず、「女性の活躍」は工事紹介に掲載しております、女性建設ディレクターチームの活躍であります。建設業界におきましては、建設従事者の高齢化が深刻な問題となっており、将来における人手不足が懸念されております。そこで、過去はほぼ男性が活躍する職種というイメージが強かった建設業界におきましても、今後女性の活躍はなくてはならないものと確信し、積極的な登用を行い活躍の場を広げております。また、その推進のために「教育と職業訓練」にも注力しているところであります。

次に、当社が拠点を置く滋賀県は、2018年度において男性の平均寿命が全国1位、女性が全国4位となっており、「健康と長寿の達成」に近づきつつある元気な県であると思います。このような環境下で、当社では工事紹介に掲載しております「瀬田川令和大橋」へつながる

国道422号の事例のように、滋賀県内のインフラの構築、改修に携わらせていただくことや、「TCC Therapy Park」のように、人と馬の双方にとっての福祉事業のお手伝いをさせていただき、「馬のまち栗東市」の発展に寄与させていただくことで、「安全で住みやすいまちづくり」に貢献してまいります。

さらに、TOPICSに掲載しておりますように「J-クレジット」を金勝生産森林組合(栗東市)より購入させていただきました。「J-クレジット」はCO<sub>2</sub>削減推進のための国の制度で、森林の所有者はクレジットの販売益により森林整備をさらに進めることで、CO<sub>2</sub>の吸収量を高め、森林の活性化につなげることができます。また、従来から当社では地元の多くの木材を利用するCLTを推進しておりますが、これは森林従事者の雇用を創出するとともに、森林整備により山や森を豊かにし、その結果清らかな水が琵琶湖に湛えられることで、私たちの「マザーレイク」と称される琵琶湖の環境再生を図ることにつながります。これらの活動により「エネルギー利用やCO<sub>2</sub>の削減」あるいは「森林や生態系の保護」に貢献できるだけでなく、安全な水を生み出すことは「健康と長寿の達成」にも通じるものがあり、さらに推進してまいりたいと思います。

最後に、会社が未永く継続していくためには、社会のニーズにあつた会社に転換していく必要があり、その転換が今後の飛躍への機会になると捉えております。さらに、持続可能な経営を行っていくためには、SDGsの目標のように中長期目標で会社の方向性を考える必要があります。

株主の皆様には、引き続きより一層のご理解、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

令和元年9月

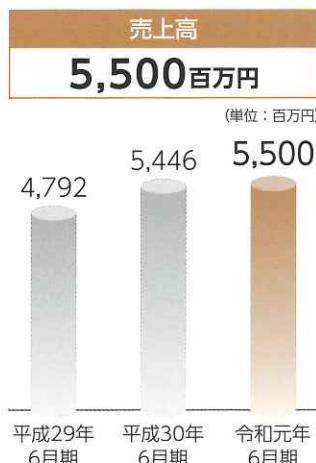
株式会社 三東工業社  
代表取締役社長 奥田 克実

### ※CLT

Cross Laminated Timber(クロス・ラミネイティド・ティンバー)の略語で、ひき材の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着したパネルを示す用語です。CLTは1990年代からヨーロッパで開発や実用化が図られてきた新しい木質構造材料で、世界中に利用が拡がっています。日本でも今後の普及・展開に向けて期待が高まっており、国土交通省や農林水産省、林野庁もCLTを推進しています。CLTはこれまでの材料になかった次のような利点を持っています。

・強い構造材 ・効率的に早く建てる ・高性能で環境にもやさしい

## 財務ハイライト



# 工事紹介

## 土木部門

### 国道422号補助道路整備工事

■場所：滋賀県大津市南郷地先 ■発注者：滋賀県 ■工期：平成30年3月～平成31年3月  
■概要：施工延長L=330.60m (道路盛土工・土質改良工・排水構造物工・舗装工)

この工事は、現道の国道422号に新たに交差点を設けて新設橋梁「瀬田川令和大橋」に取り付ける工事でした。この橋は令和元年5月に開通し、全国で初めて元号の「令和」を名称に使用した国道の橋梁として話題になりました。

工事にあたっては初めて担当する<sup>\*</sup>ICT土工活用工事となり、3次元設計、UAV(ドローン)による3次元測量、MG(マシンガイダンス)搭載バックホウによる施工、<sup>\*</sup>3Dモデルの活用などに取り組みました。工事内容については、交通量の多い現道の交通を確保しつつ新たな交差点を設けるため、段階的に交通切替を実施しながら施工を行わなければならず、既存のライフライン(電気、情報、上下水道、都市ガス)を全て工期中に切り替える必要があったため、関係各所と綿密な工程調整と、工程に合わせた施工を行うことを心掛けました。

現場スタッフのチームワークや、建設ディレクターの活躍により、工事を中断することなく、無事故・無災害で完成することができ大変嬉しく思います。

<sup>\*</sup>ICT(Information Communication Technology)：情報通信技術のことを指し、ICTを活用することにより高効率・高精度の施工が可能となる。

<sup>\*</sup>3Dモデル：建設現場の完成図等を3次元化して見える化したもの。



現場代理人 山下 峰人  
(土木工事部 工事主任)



監理技術者 中尾 浩樹  
(土木工事部 工事主任)



入社して3年目の私にとって現場事務に従事することは今回が初めてでした。現場に出たばかりの頃は戸惑うことが多々ありました。作業に従事される方は優しく、わからないことをいろいろと教えていただきながらすぐに慣れることができました。本社勤務のときと違い、現場では書類だけでは把握できない変化をリアルタイムで知ることができるので、毎日が新鮮でとても楽しく感じました。今後も1つでも多くのことを学んで吸収し、現場での支援がより円滑なものになるよう尽力したいと思います。

建設ディレクターチーム 川島 夕佳



## 建築部門

### TCC Therapy Park新築工事

■場所：滋賀県栗東市六地蔵地先 ■発注者：株式会社日本サラプレッドコミュニティクラブ ■工期：平成30年12月～平成31年4月  
■概要：セラピー棟 木造2階建 延床面積337.01m<sup>2</sup> 厥舍棟 CLT工法1階建 延床面積250.09m<sup>2</sup> ■設計・施工：株式会社三東工業社 ■設計・施工監修：滋賀県立大学 金子研究室

栗東市に拠点を置かれている(株)日本サラプレッドコミュニティクラブ様により、引退馬の第二の活躍の場として、また障がいを抱えた子供達を癒す場として、全国で初めてこの施設が誕生いたしました。古来より馬には人を癒す力があることが知られておりましたが、この施設では、競技生活を終え行き場を失った馬達がその力を再び発揮し活躍することが期待されております。産官民の協働により生まれたこの施設は、土地は栗東市の福祉施設の跡地を利用され、設計においては滋賀県立大学と当社が協議を重ね進めてまいりました。設計段階当初からお施主様にはCLT材に大変興味を持っていただいたことで、国内初のCLTを用いた厩舎誕生の運びとなりました。また、施工中にはCLTの構造見学会を催し、多くの方々にCLTの活用概要や建方の様子をご覧いただく機会を提供することもできました。CLT材を使用したことでの温かみが感じられる、人々にも馬達にも優しい建築物となったことは言うまでもありませんが、CLT材の普及は当社が経営方針のひとつとする「低炭素社会の実現」にもつながります。今後、滋賀県内だけでなく広く日本国内においてCLT建築物が推進されることを願い、私自身この現場で学んだことを次の現場に活かしていきたいと思います。



現場代理人 立入 天博  
(建築工事部 工事主任)



## 土木部門

### リニア中央新幹線名城変電所新設工事

■場所：愛知県名古屋市中区地先 ■発注者：東海旅客鉄道株式会社 ■元請業者：株式会社大林組 ■工期：平成31年1月～平成31年4月  
■概要：全敷地面積20,000m<sup>2</sup>のうち4,560m<sup>2</sup>の地下部分TRD施工 深度38m

この工事は、東海旅客鉄道(株)がリニア中央新幹線の電力供給を目的とする「名城変電所新設工事」の一部で、当社のTRD機にて地中連続壁の造成を行った工事です。

現在は名古屋市の中心部におけるリニア中央新幹線の工事ということで注目が集まっており、またリニア中央新幹線開業(2027年開業予定)後は人の移動が活発かつ広範囲になることが予想され、日本国内の経済発展に大きな期待が高まっています。リニア新幹線の開通は鉄道の歴史を変える大きな出来事といえると思いますが、今後さまざまな可能性を予感させるリニア中央新幹線工事において、当社の得意とする技術で携われたことを大変誇りに感じています。今後もさらに日本の未来に貢献できるよう社業に励んでまいります。



現場代理人 橋 茂生  
(土木工事部 工事主任)

## TOPICS

### ◎2019年「建設事業関係者功労者等国土交通大臣表彰」受賞

建設事業関係各分野の発展に尽くし、公共の福祉の増進に貢献したとして、当社代表取締役社長奥田克実が、今年度の受賞者となりました。この度の受賞は、会社の利益だけではなく、近江商人が大切にした「三方よし」の精神で社業に尽力したことが実を結んだものと深く感謝いたします。今後も全社一丸となって、建設業の発展に寄与できるよう、真摯に社業にまい進してまいります。



## ●金勝生産森林組合より「J-クレジット」購入

当社はCSR活動の一環として、滋賀県で初めて国から一定量の※J-クレジット創出の認可を受けられた「金勝生産森林組合」よりJ-クレジットを購入いたしました。当社では4年前(平成27年)に始めた金勝山の植樹に始まる森林整備活動に社員が参加することで森林を育て、琵琶湖を守る保全活動を行つてまいりましたが、今回はまた違った方面からも森林保全、カーボンオフセットに貢献したいという思いがあり、クレジットの購入をさせていただいたものです。

今後も当社はさまざまな方面から豊かな森林を守り、美しい琵琶湖を守るために積極的に環境保全活動を推進してまいります。

※J-クレジット：CO<sub>2</sub>削減能力を数値で表し、クレジット化。それを販売できる仕組みのこと。費用のかかる森林保全のため森林所有者はクレジットの販売益で森林整備費を補填でき、企業は低炭素目標値の限界を、J-クレジットで補うことが可能となる。



### 株式の状況 & 会社概要

(令和元年6月30日現在)

#### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,200,000株
発行済株式の総数	686,000株
当期末株主数	629名

#### ■ 会社概要

設立	昭和29年7月
資本金	8億4千9百50万円
従業員数	87名
主な事業内容	土木、建築、舗装、各工事の総合請負 建設業法に基づく許可 国土交通大臣許可(特-27)第9082号 設計監理 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(ハ)第2101号 不動産取扱 宅地建物取引業者免許 滋賀県知事(8)第1845号 労働者派遣 労働者派遣事業許可 厚生労働大臣許可 派25-300225

#### ■ 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	定時株主総会 每年6月30日 期末配当 每年6月30日 中間配当を行う場合 12月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所

#### 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

#### ■ 取締役

代表取締役社長	奥田克実
専務取締役	奥川礼幸
常務取締役	細中喜彦
取締役	森本彦朗
取締役	中矢喜雄
取締役	田中敏造
取締役(監査等委員)	奥村泰造
取締役(監査等委員)	山本穂積
取締役(監査等委員)	津田穗積

(注) 山本泰造氏と津田穂積氏は社外取締役であります。

#### ■ 主要な営業所

本社	滋賀県栗東市上鈎480番地
本店	滋賀県甲賀市信楽町江田610番地
大阪支店	大阪府大阪市天王寺区東高津町11番7号
大津営業所	滋賀県大津市長等三丁目2番23号

株式会社三東工業社ホームページ URL <http://www.santo.co.jp>

#### ■ 表紙絵画に寄せて



湖西にある栗原集落。畦の美しい曲線。棚田を見下ろし広がる琵琶湖、かなたに湖東の平野、鈴鹿山系。四季を通して描ける、とっておきの原風景が今もここに。

by Brian Williams  
ブライアン・ウィリアムズ オフィシャルサイト  
<http://www.brianwilliamsart.com>

